




中等度 日常生活に手助けや介護が必要

本人

- 物をとられた等と人を疑う
- 家までの帰り道がわからなくなる
- 洋服の着替えがうまくできなくなる
- 趣味や好きなテレビ番組に興味を示さなくなる

徐々にもの忘れの自覚がなくなってくる・・・
理解力は落ちてくるものの、感情面はとても繊細です



家族

- 戸惑うような出来事が増え対応も難しくなってきます。家族だけで認知症の人を介護することは困難です。公的サービスを積極的に利用しましょう

ポイント

《対応する心構え》

- ☆できないことを責めるのではなく、できることをほめましょう
- ☆些細なことでも家庭での役割を担ってもらいましょう
- ☆本人の意思・ペース等を尊重しましょう

《薬のことで困ったら》

- ☆医師・薬剤師に相談
- ☆ケアマネジャーに相談
- ☆薬の一包化
- ☆お薬カレンダー等活用
- ☆剤形の変更

家族やトラブルへのサポート

語らう、学ぶ、笑う、共感する、そして経験を分かち合う (P.10)



- 認知症カフェ
- 家族介護教室

認知症の人と家族の会

- 家族会 (5月・9月・12月)
- 会報の発行

トラブル解決 (P.10)

- 法テラスむつ法律事務所
- むつ市消費生活センター

〈認知症の人との接し方〉

- 徘徊する
 - おかえりネットに登録する
 - 外出の理由を聞いて、本人の思いに沿って対応する
 - 衣類や持ち物に名前・連絡先をつけておく
 - × 部屋に閉じ込める等外出できないようにする
 - × 外出を無理矢理引き止める
- 「物を盗まれた」と身近な人を犯人扱いする
 - 感情的にならず一緒に探す
 - 捜し物を見つけたら、本人が見つけれられるように誘導する
 - × 盗まれたことを否定したり説明する
 - × 本人より先に見つけて教える

